



2021年2月10日

各 位

会 社 名 ルーデン・ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 西岡 孝  
(JASDAQ・コード1400)  
問合せ先 取締役管理部門管掌兼管理本部長  
佐々木 悟  
電 話 03-6427-8088

### (開示事項の経過) 当社子会社 ICO による資金調達の結果及び変更に関するお知らせ

当社は、2018年10月19日付「(開示事項の経過)「ルーデンコイン」に関するホワイトペーパー発表のお知らせ」、2018年12月20日付「(開示事項の経過) 当社子会社 ICO による資金調達の結果及び資金使途の変更に関するお知らせ」及び2019年8月19日付「(開示事項の経過) 当社子会社による不動産プラットフォーム構築完了に関するお知らせ」にて開示したとおり、当社子会社である Ruden Singapore Pte. Ltd. (以下、「Ruden Singapore」といいます。)が、ICO (Initial Coin Offering) における新規発行トークン「ルーデンコイン (以下 RDC といいます。)」の販売を行いました。その ICO による資金調達の資金使途の経過及び変更について、下記のとおりお知らせいたします。

## 記

### 1. 資金使途の経過及び変更

#### (1) 資金使途の経過及び変更の理由

当初予定していたプラットフォームの追加開発の検討に時間がかかり、2020年初頭に世界的なコロナ禍となったため、プラットフォームの追加開発の時期としては相当ではないとの判断から当社は調達した仮想通貨による資金使途を変更いたしました。

#### (2) 変更箇所 (変更箇所は下線を付して表示しています。)

① (変更前) 資金使途詳細 (ルーデンコインを予定通りすべて販売することができ、調達した仮想通貨を全額、直近のレートで換金できた場合の金額・使途)

(単位：百万円)

項目	予定支払先	2018年中	2019年中	2020年中
ビジネスモデル構築費(個)	ルーデン・ホールディング	0	0	0

別不動産取得資金、私募不動産信託での不動産取得資金、プラットフォーム構築予備費等) *「仮想通貨不動産決済プラットフォーム」、「仮想通貨不動産投資信託プラットフォーム」で使用	ガス等の不動産の売り手等			
プラットフォーム（システム）開発投資	Blockheaders（注1）等 ブロックチェーン技術 保有企業	0	<u>600</u>	0
研究開発費用（R&D） （将来的な技術革新に向けたプラットフォームのアップデートコスト）	Blockheaders 等ブロッ クチェーン技術保有企 業	0	<u>50</u>	0
マーケティング費用 （「ルーデンコイン」の認 知度向上に向けたもの）	Coindesk, Cryptonews, Bloomberg 等メディア企 業	0	<u>50</u>	0
運転資金（人件費、家賃、 交通費、外注費、マーケッ トメーカー委託費用等）	Ruden Singapore 社員、 現地不動産会社、現地企 業等	20	<u>60</u>	0
合計		20	<u>760</u>	0

（注1）Blockheaders は、Blockchain Global Ltd グループのブロックチェーンシステム開発会社です。

\*プラットフォーム（システム）構築を行う際のソフトウェア減価償却（5年定額償却）と、販売用不動産資産としてのビジネスモデル構築費（個別不動産取得資金、私募不動産信託での不動産取得資金に全額充当し、プラットフォーム構築への追加投資は行わない場合）を考慮した会計上の影響

（単位：百万円）

項目	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
減価償却費（プラットフォーム構築）	0	<u>120</u>	<u>120</u>
販売管理費 合計	20	<u>280</u>	<u>120</u>

②（変更後）

（単位：百万円）

項目	予定支払先	2018 年中	2019 年中	2020 年中	2021 年以降
ビジネスモデル構築費 （個別不動産取得資金、私募不動産信託での不動産取得資金、プラットフォーム構築予備費等） *「仮想通貨不動産決済プラットフォーム」、 「仮想通貨不動産投資信託プラットフォーム」で使用	ルーデン・ホールディングス等の不動産の売り手等	0	0	0	—
プラットフォーム（システム）開発投資	Blockheaders（注1）等ブロックチェーン技術保有企業	0	<u>11</u>	0	—
研究開発費用（R&D） （将来的な技術革新に向けたプラットフォームのアップデートコスト）	Blockheaders 等ブロックチェーン技術保有企業	0	0	0	—
マーケティング費用 （「ルーデンコイン」の認知度向上に向けたもの）	Coindesk, Cryptonews, Bloomberg 等メディア企業	0	0	0	—
運転資金（人件費、家賃、交通費、外注費、マーケットメーカー委託費用等）	Ruden Singapore 社員、 現地不動産会社、現地企業等	20	<u>14</u>	0	—
合計		20	<u>25</u>	0	—

（注1）Blockheaders は、Blockchain Global Ltd グループのブロックチェーンシステム開発会社です。

（注2）今後、本 ICO の資金を充当する際は改めてお知らせいたします。

\*プラットフォーム（システム）構築を行う際のソフトウェア減価償却（5年定額償却）と、販売用不動産資産としてのビジネスモデル構築費（個別不動産取得資金、私募不動産信託での不動産取得資金に全額充当し、プラットフォーム構築への追加投資は行わない場合）を考慮した会計上の影響

（単位：百万円）

項目	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
減価償却費（プラットフォーム構築）	0	<u>2</u>	<u>2</u>
販売管理費 合計	20	<u>36</u>	<u>11</u>

## 2. 今後の見通し

既に、決算短信等でお知らせしたとおり、当 ICO は今までのところ総合的に判断して、収益認識しないと判断し、重要性の観点から鑑みて、連結決算には組み込んでおりません。よって、当 ICO の資金使途の変更による当社の連結業績に与える影響は軽微であります。今後の会計処理については、協議をしたうえで、判断することといたします。

また、ICO 時に調達した 1,700BITCOIN については、現段階では具体的な方針は定まっておりません。そして、不動産プラットフォームの追加開発についても、新型コロナウイルス感染症の影響もあり現在は未定ですが、状況を鑑みながら判断する予定です。

そして、ルーデンコインにかかる事業に進展が見込まれる場合には、速やかに、お知らせいたします

以上